

くまがみね

学校だより
2026 (令和8) 年7月1日
福山市立熊野小学校



小規模校の“強み”を生かした教育活動

「熊野ふれあい広場クローバー」が5月末に営業を終えました。小山敏明店長をはじめ、スタッフのみなさまに、学校がどれほどお世話になったことか。地域の方が自主運営するスーパーだからご苦労も多かったのだろうと推察しますが、ずっと続けていただきたかったです。人口が減少していく地域での事業は、それがどれだけ社会的意義のあるものでも、住民数が一定の水準を下回れば、成立しなくなるという宿命なのでしょう。とても残念です。

こんな時代だからこそ、熊野町の活力を守るために小学校ができることを模索しています。小規模校の強みである「顔の見える関係」を生かし、こどもたちが自ら地域へ働きかける活動を多く取り入れていきます。生活科や総合的な学習の時間では、地域の「本物」に触れる出前授業や職場体験などを実施し、地域のみなさまに元気と笑顔を届けられるような豊かな学びを展開してまいります。

【1年生】地域住民の高橋 洋 様をゲストティーチャーにお迎えし、畑の土を耕すところから教えていただきました。ズッキーニ、トウモロコシ、レタス、サツマイモなどの野菜を育てています。畑の土が良質なうえに、こどもたちがいっしょけんめいに水やりや草抜きをしているおかげで、立派な野菜ができています。



【2年生】「2代目 K soul brothers」が「まりホーム熊野」を訪問し、入所者のみなさまと交流しました。

現4年生の「くまのレインボー」が活躍したのと同様に、町内の施設などを回って演奏を行う予定です。鍵盤ハーモニカやタンバリンを手に、歌や合奏、ダンスを披露します。



【3年生】福山市の特産物「くわい」についての学習。南原邦夫 様の指導のもと、「発泡スチロールの畑」で実際に育てています。



【4年生】社会福祉協議会 上手香陽子 様から「熊野ちょこっとお助け隊」名札デザイン考案の依頼がありました。地域のみなさまを元気にする「オリジナル体操」も開発中です。



【5年生】「山田の里農園」で「田植え」を行いました。熊野学区まちづくり推進委員会の方々のご協力をいただきました。

志田原友逸 様をゲストティーチャーにお招きし、お米のことや米作りについて学びました。



【6年生】「勉強堂のお菓子のパッケージデザインを、ぜひ6年生にお願いしたい！」勉強堂専務山本裕司 様から依頼がありました。

「勉強堂」へ職場訪問。製造工程を学んだり、練り切りを使った生菓子作りを体験したり。社長の門田治己 様から会社の歴史や商品への思いを伺いました。

